



に い が た

県電だより



北西方面 < 新春号 >

表紙写真紹介

『小千谷支部』

撮影場所／小千谷市山本山地内

撮影日／平成29年11月

南東方面

【コメント】

今回は、小千谷支部のエリアを紹介します。

小千谷支部エリアは、北西方面には広大な越後平野が広がり、そして日本一の大河信濃川が流れています。また、南東方面には向かって左から、日本百名山の駒ヶ岳、三山最高峰の中ノ岳、信仰の山の八海山と、魚沼の名峰がそびえており、大変景色の良い支部です。

撮影時は生憎の曇りでしたが、今は真っ白に雪化粧した景色が見られます。山本山は菜の花で有名です、是非一度は観にお出で下さい。

撮影者／新潟県電気工事工業組合
小千谷支部
大市電気株式会社 佐藤 春男氏



目次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 地域懇談会を開催	10
3. 平成29年度「若手社員グローアップセミナー」を初開催	11
4. CEATEC JAPAN 2017視察研修	13
5. 第32回電気工事業全国大会（九州・沖縄大会）に参加！	14
6. 各種表彰	16
7. 各支部だより	17
8. 各青年部だより	19
9. 組合員の異動・変更	22
10. 新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習の開催について	23
11. 組合の保険って？！	24
12. 平成30年度 消防関係試験実施計画	26

【表紙写真募集】

- 県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- 写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

年頭のご挨拶



2018年 年頭のご挨拶

理事長
小林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月、沖縄県で開催されました「第32回電気工事業全国大会」に出席いたしました。当大会で発表された組合活性化事業事例では、北海道工組の「工業高校生の保護者向け業界説明会」や滋賀県工組の「給付型奨学金交付事業」等、少子高齢化の影響による人材不足に対応するための取組みが多く発表され、人材不足の深刻さを一層認識させられたところでありました。

当組合では、学生に電気工事業界を理解してもらい、地元組合員事業所を就職選択肢の一つとして考えてもらうことを目的に、4年目となる「電気系教育・訓練機関の学生と交流事業」を、当該支部・支部青年部にご協力いただき、県内6工業系高校で鋭意実施してまいりました。おかげ様で、「地元組合員事業所への入職者が増えた」との声をお聞きすることができ、事業の成果が実感できたところでありました。

一方、「せっかく入職した若手社員が早期に離職して困っている」、という話もお聞きします。昨今の若手社員は離職率が高く、交流事業の意見交換会でもみられるように、収入だけでなく休日や勤務体系にも関心が集まっております。入社後の若手社員が仕事に興味を持って、将来の自分の姿を描けることができるよう、離職防止のためには若手社員に対しての指導・教育だけではなく、就業規程・社内規程を整備する等、

受入れ事業所の就労環境を整備する必要があると考えております。

また、交流事業を実施していない支部で、地元の普通高校等に対しての入職者促進のための取組みについてもご要望をいただいております。今後、地元支部並びに支部青年部にご協力をいただきながら、学生に電気工事業界に興味をもってもらえるよう、業界PR等に努めてまいりたいと考えております。

さて、本年当組合は創立70周年を迎えます。昭和23年4月108社で組合を創立以来、昭和30年5月電設資材の斡旋販売、昭和52年5月共同保守管理業務、平成17年11月引込線事業部業務、平成25年4月電気工事士免状交付等業務他、組合員のための事業を行なってきました。

6月には、これまでの先人の歩んでこられた足跡を振り返り、その功績に感謝の意を表し、通常総代会にあわせて記念講演会、並びに記念式典を開催いたしますので、多数の組合員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

また、本年11月に「第3回電気工事技能競技全国大会」が開催されますが、これに先立ち新たに東北ブロックの予選会として、9月に宮城県で「第1回東北ブロック技能競技大会」が開催され、今回特別出場枠が設けられた岩手県を除いた東北六県で、一般の部2名の出場枠が競われます。また、前回出場の新潟工業高校川本選手の奮闘の記憶も新しい高校生の部については、出場選手が5名から9名に拡大され、県の予選会として、8月に上越市で「高校生ものづ

くりコンテスト新潟県大会」が開催される予定となっております。一般の部、高校生の部ともに全国大会出場を目指して、関係各位のご協力をいただきながら、組合をあげて支援してまいります。

組合では加入時の負担軽減を図り、入りやすい組織を目指しておりますが、組合に加入するメリットについて問われることがあります。個人事業者にとって、各支部引込線会社の協力店として、引込線工事が施工できることはメリットの一つだと思っておりますが、それぞれの組合員が組合事業を利用し、自らメリットを見つけていただきたいと思います。「組合は組合員のために」という使命を果たし、組合員が今後とも安定的に事業を営んでいくことができるように、本年は次の事業に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、若手入職者の確保と優れた技術者の育成のため、引続き「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を実施するとともに、「担い手確保のための調査・検討」に取り組んでまいります。また、組合員への情報提供を迅速かつ的確に行なうため、「ITを活用した事務の効率化並びに情報伝達の迅速化の調査・検討」に取り組んでまいります。また、組合運営に関するさまざまな課題等について引続き検討を行なうとともに、関連する規程・規約の整備を行なってまいります。

経営企画推進委員会では、新入・若手社員の離職防止のため昨年から実施した「若手社員グローバルアップセミナー」について、対象者を事業主や社員教育担当者等を含めて検討のうえ継続実施いたします。また、10回目となります「製・販・工懇談会」につきましては、開催団体の枠組み等内容を検討して継続開催いたします。また、組合員の万一の場合に備えた福利厚生制度の充実のため、組合員・従業員等の所得・医療を補償する「生活総合保険制度」の取扱いを開始いたします。

技術委員会では、電気設備の不良工事の未然防止により、お客様・発注者との信頼関係を築き、漏電・感電防止等の電気保安を確保するため、「内線工事における不良率低減」に引続き取り組んでまいります。また、労働災害防止のための労働安全衛生関係講習会として、監督官庁から実施奨励が示された「職長・安全衛生責任者能力向上教育」を新たに開催いたします。また、全対象者の受講に向けて、各支部で開催していただく「低圧電気工事取扱特別教育」の支援を行なってまいります。

引込線事業委員会では、仕事量の拡大のため、引込線会社連絡協議会と連携を図りながら、東北電力(株)の配電付託工事として、スイッチング並びに劣化引込線張替工事等を推進してまいります。また、安全体制の確立のため、引込線事業部に専任管理者を置くとともに、インストラクター専門部会による引込線会社への安全パトロールを実施し、ゼロ災害実現に取り組んでまいります。また、発刊後期間が経過した「標準作業マニュアル」を見直し、新たな施工技術等の内容を織込んで改訂いたします。

平成27年4月から開始された「電力システム改革」を始めとして、電気工事業界を取巻く環境は、地域・業界の垣根を越えて大きく変化してきておりますが、当業界がこれまで果たしてきた社会インフラ整備という役割は、今後も変わることがないと考えております。当組合も創立70周年の節目を迎え、業界が果たしてきた役割を踏まえて、「組合員のために何をなすべきか」を問い直し、これからの組織の「あるべき姿」を検討してまいりたいと考えております。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)の皆様へ、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2018年 年頭のご挨拶

新潟県知事

米山隆一

平成30年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、糸魚川市大規模火災への対応から新たな1年が始まりました。これまで、復旧・復興にご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

また、就任から1年余りが経ちました。この間、多くの皆様からお力添えをいただき、県政を前に進めることができました。改めて知事としての職責の重さを実感するとともに、非常に大きなやりがいを感じています。

本年は、就任時に約束いたしました「県民の命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」県政の実現に向け踏み出した歩みを、着実に前へ進めてまいります。

まず、原子力発電所については、引き続き、県民の皆様の安全を最優先に、福島原発事故の徹底的な検証がなされない限り、再稼働の議論は始められないという立場を堅持しつつ、3つの検証委員会において、検証を進めてまいります。

次に、教育分野では、誰もが希望と能力に応じ、安心して教育を受けることができる社会の実現に向け、意欲と能力のある高校生が経済的な理由で大学への進学を断念することがないように、「新潟県版給付型奨学金制度」を創設し、より多く子どもたちが、進学希望をかなえられるよう、取り組んでまいります。

そして、県政の最重要課題である人口減少問題への対策に、より一層力を入れて政策を推進し、新潟県が、子育てしやすく、暮らしやすく、学びやすく、働きやすい、総合的に魅力ある、人々に選ばれる地として、持続的に発展しているよう、県政のあらゆる分野での取組を総動

員し、全力を挙げて取り組んでまいります。

「命と暮らしが守られ、一人一人が未来への希望を持って自らの幸福を実現できる新潟県を創る」を新たな総合計画の基本理念に掲げ、「現在と未来への責任を果たす県づくり」に向けて取り組んでまいります。

さて、本県では、将来のエネルギー選択の幅の拡大を目指すとともに、今後成長が期待される再生可能エネルギー産業分野への県内企業の新規参入を実現するため、様々な施策を推進しているところですが、本県の再生可能エネルギーの導入拡大のため、電力システムの増強のほか、多様な地域資源を活用した取組や地域で生産消費するためのエネルギーシステムの構築が重要になってきております。その実現に向けた再生可能エネルギー発電設備や蓄電設備、省エネ設備に対する社会的要請が高まる中で、皆様の役割がますます大きくなってきております。

こうした状況の下、貴組合におかれましては、太陽光発電設備に関する事業者が連携して普及促進を図る「新潟県太陽光発電導入促進協議会」の事務局等として、ご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

2018年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

武田 眞二

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社は電力小売全面自由化による競争の激化や、2020年4月までの実施が求められている送配電部門の法的分離など、激変する事業環境を踏まえた組織体制を構築するため、2018年4月より、カンパニー制を導入するとともに、これに伴う組織整備を行なうこととしております。

当社は現在、発電・送配電・小売の3つの事業について、それぞれ本部制のもとで運営しておりますが、これらの本部を「発電・販売カンパニー」と「送配電カンパニー」に再編いたします。

「発電・販売カンパニー」では、発電と販売部門を一体的に運用し、相互に連携を図りながら事業を運営することで更なる競争力強化と収益拡大を図ってまいります。

一方「送配電カンパニー」では、引き続き、新潟県と東北6県において、電力の安定供給をしっかりと果たすとともに、中立性・公平性の確保に、より一層努めてまいります。

2020年4月には、「発電・販売カンパニー」を社内カンパニーとして持つ「事業持株会社」と、「送配電会社」の2社体制で事業を運営する方向としており、引き続き、詳細な検討を進めてまいります。

カンパニー制導入にあわせまして、各県の県庁所在地に配置している、7つの「支店」につ

きましては、販売などの業務を担う7つの「支店」と、送配電業務を担う7つの「送配電カンパニー支社」に再編いたします。

新潟支店管内においては、現行の12カ所の営業所と、3カ所の技術センターを、販売業務などを担う5カ所の「営業所」と、送配電業務を担う12カ所の「電力センター」に再編することとなります。

販売業務を担う営業所につきましては、人員を集中的に配置し、お客さまへの様々な提案力の強化・充実や、販売ノウハウの共有を図ることで、より一層のお客さまサービスの向上や、競争力強化を目指してまいります。

また、電力センターにつきましては、現在の営業所あるいは技術センターから名称は変わりますが、それぞれの事業所が担ってまいりました送配電業務をそのまま残し、現行の保安全管理体制を維持した上で、引き続き、電力の安定供給をしっかりと果たしてまいります。

このような、電気事業を取り巻く環境の変化を踏まえて、当社といたしましては、新たな組織体制のもと、競争力の強化や収益力の拡大を図るとともに、送配電部門の法的分離を見据え、来年度から先行的に業務を行うことで、分社時に組織が円滑に移行できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

また、引き続き、地域にしっかりと寄り添い、地域の成長や発展への貢献を通じて、お客さまや地域社会の皆さまのご期待にお応えできるよう、全社を挙げて取り組んでまいります。

結びになりますが、貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまにとりまして本年が幸多き年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

2018年 年頭のご挨拶

総務委員長

本間好夫

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は総務委員会の活動に皆さまのご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

平成29年度当委員会事業の具体的推進事項といたしまして、①組合運営に関する課題の検討、②電気系教育・訓練機関の学生との交流事業の開催、③担い手確保のための調査・検討、④新規加入組合員の集合研修、⑤各支部組合員との地域懇談会の開催、⑥ITを活用した事務の効率化並びに情報伝達の迅速化の調査・検討、を掲げ活動してまいりました。

「新規加入組合員の集合研修」、「十日町支部地域懇談会」、並びに「新潟支部地域懇談会」は実施済みです。十日町支部と新潟支部での地域懇談会では、各支部組合員の皆さんからの質問や意見、要望事項など多くの発言をいただき、有意義な懇談会となりました。組合員の皆様の思いを、組合運営に反映させるまたとない機会となりました。

また、今年で4年目を迎える「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」につきましては、参加学生のなかで地元電気工事会社に就職するなど、具体的な成果も出てきております。

参加した学生のアンケートには、「達成感が凄そう」、「仕事に誇りを持ってやっていることが分かった」などの前向きな感想に、交流事業の継続とエリア拡大の必要性を実感しております。

平成29年度から当委員会の新規事業として、「担い手確保のための調査・検討」、並びに「ITを活用した事務の効率化並びに情報伝達の迅速化の調査・検討」の2項目について取り組むことにいたしました。

担い手確保については、「人材の確保」と「人材の育成」の観点から取り組むことが求められます。また、ITの活用、推進が不可避となっていますが、当組合や多くの組合員事業所の現実には未整備なものとなっています。

これらのことから、集中的・専門的に検討する場として「担い手部会」と「IT部会」を設置し、事業を推進いたします。

小林理事長の掲げる「みんなが幸せになれる業界」の実現のため、激変する環境変化のなか、積極的に事業を進めてまいります。

終わりに、組合員各社のますますの商売繁盛と組合員の皆様のご活躍をお祈り申しあげ、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

さらなる飛躍を目指して

経営企画推進委員長

山本 進



新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様方に於かれましては穏やかに
お過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃は当委員会の運営にご理解・ご協力を頂
きまして、深く感謝御礼を申し上げます。

さて、今年度の新事業といたしまして“若手
社員グローアップセミナー”を開催いたしました。
新入社員、及び入社2～3年位の若手社員
を対象としたセミナーです。

各支部の経営委員会の方々との意見交換会で、
我々の業界のみではないが、新入社員や若手社
員の離職が目立ってきているので、何とか思い止
まるようなセミナーを開催できないかとの話が
出ました。新入社員や若手社員は、各社や業界
にとって“宝”であります。何とか継続してセ
ミナーを行うことで、事態が変わればと思ってお
ります。

社員の方の問題なのか、経営者や人事担当者
等の上役の問題なのかという疑問が出ており、
どの様な内容でセミナーを行うかは今後の課題
となっております。“現場力レベルアップセ
ミナー”、“事業承継セミナー”と共に、[セ
ミナー部会]の人材育成に関する活動となってお
ります。

[エコ研究部会]の活動と致しまして、時代
の変化に応じた新商品・新技術の研究を中心に、
省エネ・創エネ・蓄エネの調査研究を行ってお

り、“製販工懇談会”ではLED保証問題、電材
会社の存在位置や価格に関する事等、話し合
いを行って参りました。

インターネットや通販による消費者の直接購
入や材料支給等、我々を取り巻く社会は今後の
予測ができないくらい変わっております。当業
界も、社会の大きな変化に後れを取らないよう
に、業態変化を含め変わっていかなくてはなら
ないとつくづく想っております。

当委員会活動の3本柱の1つであります、福
利厚生を主たる目的とする[保険部会]につ
きましては、全日より“組立保険”に引き続
いて“生活総合保険制度”の募集を開始致し
ました。所得補償、介護補償、がん補償を
目的として、補償がなされます。組合員の
役員、従業員及びその配偶者、お子さま、
両親、同居している親族等が対象となり、
全国規模の組合によるスケールメリットを
生かしたこの新補償制度を、“第三者損害
賠償制度”、“業務災害補償制度”とも
ども宜しくお願い致します。

今年も皆で楽しく、また委員会に出て新
情報を仕入れたり、見聞を広めたり、危機感
を募らせたりとなかなか大変ですが、各
部会とも“組合員の為に成る事をする”
ということが基本です。

最後になりますが、組合員の皆様のご
協力を得ながら、皆様方の益々のご健勝
をご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶

2018年 年頭のご挨拶

技術委員長

齊藤 淳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方におかれましては清々しい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

技術委員会もお陰様で、皆様のご理解、ご協力を賜り事業運営を進めることができました。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年開催いたしました各種講習会に大勢の方々に受講いただき、ありがとうございました。今回、初めて取り入れた『これからの現場管理者のための必携セミナー』を実施いたしましたところ、110名を超える皆様からの申込があり、会場を2会場に増やして受講していただきました。本年も2月中旬に、同セミナーの開催を計画しておりますので、一人でも多くの方々に、参加をしていただきたいと思います。また、『低圧電気工事取扱特別教育』も支部講師の皆様大変ご苦勞をお掛けいたしますが、本年も引き続きよろしく願いいたします。

昨年8月9日、上越総合技術高等学校で開催された『高校生ものづくりコンテスト新潟県大会』を視察いたしました。競技内容は作業板上に課題配線図に基づいて、屋内配線を2時間10分から2時間40分の間に終了させるという内容

でした。県内5つの工業高校から出場した高校生10名の選手が、日頃の練習成果を発揮し課題に取り組む姿勢は、十人十色さまざまでしたが、これらの競技を通し電気工事に興味を持ち、一人でも多く私たちの電気工事業界に目を向けていただきたいものです。今後、組合も協力できるところは協力をしていきたいと思っております。

昨年10月、急な衆議院解散があり、そして選挙戦に突入し、結果は与党が大勝しました。これまでの経済政策は継続されますが、今後10年間に経営者の引退が見込まれる中小企業の、約半数にあたる127万社超で、後継者が未定とされています。放置すれば廃業が急増し、日本経済に深刻な影響を及ぼしかねない現状にあります。私たちも、事業継承という問題に立ち向かっていく必要が、あるのではないのでしょうか。そこで、技術委員会として各種分野にアンテナを傾け、さまざまな情報を収集して、皆様方のお役に立てる事業を研究していきたいと思っております。

最後に、組合員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



引込線事業の安全確保と飛躍をめざして

引込線事業委員長

原田和広

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成29年度より引込線事業委員長を拝命いたしました燕支部の原田と申します。微力ではございますが宜しくお願い申し上げます。

さて、電力業界の動向におきましては、東北電力(株)様は来春よりカンパニー制の導入が始まり、2020年4月の送配電部門の法的分離に備えられております。

このような状況の中当委員会では、昨年より新たに配電付託契約を取り交わし、スイッチング対応並びに劣化引込線張替工事など、東北電力(株)様と一体となって地域貢献を担っているところであります。

引込線会社連絡協議会の意向を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねてきた成果が、着々と身を結んできているところであります。新潟県では未だに景気の見通せず、住宅着工も伸び悩んでおります。そんな中で、配電付託という電力設備の計画的な保守工事で、何とか経営の安定に寄与する環境が整って参りました。しかしながら、昨年各支部引込線会社との意見交換をさせていただいたときに、受注内容で温度差があることを実感いたしました。今年はより一層の連携を図りながら、ご協力をお願いしたいと思っております。

今年は、安全への取り組みをより一層強化し、各種活動において実績を積み重ねて参りま

す。従来通り「安全第一」の初心を忘れず安全作業を基本として、絶対に事故をおこさないということを柱に、ゼロ災害実現のために取り組みます。安全・技術の実働部隊となるインストラクター専門部会を更に充実させ、指導者の育成を行い、部会による各地の引込線会社への安全パトロールにおいて、安全作業への情報共有を図ります。

また、6年前に発刊した「低圧引込線以下工事 標準作業マニュアル」の見直しをおこない、安全面・品質面での新たな施工技術を盛り込んだ内容で改定作業を進め、東北電力(株)新潟支店様からも監修をお手伝いいただき、来春の発刊を目指しております。

一昨年の事故を受け、組合組織は安全に対する取り組み方が変わったとだけ思っていた状態に、少しずつではありますが、近づいていると確信しております。今年も2月に「第6回安全大会」を開催いたします。組合一丸となって、新たな決意と共にゼロ災害にむけた取り組みをおこなって参ります。

我々組合を取り巻く環境は、現在進行形で変化しております。激しい社会環境の中ではございますが、様々な変化に対して、スピーディーで適切なアクションを取るために、皆様方の英知をお借りしながら、この厳しい時代を乗り切りたいと考えておりますので、今後ともよろしくご協力申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2018年 年頭のご挨拶

県青年部会長

齊藤卓也

新年、明けましておめでとうございます。

日頃は新潟県電気工事工業組合青年部活動にご理解ご協力頂き感謝申し上げます。

平成29年度6月理事総会におきまして星野泰助前会長からバトンを受け責任ある会長職を仰せつかり、身の引き締る思いです。

新潟県工組青年部理事として7年目のまだまだ若輩者ですが、青年部新役員並びに青年部会員と共に時代にマッチした活動を取入れ、青年部のフットワークの良さをもって新潟県工組青年部を更に活性化して行きたいと考えております。

昨年6月には毎年恒例になりました支部間交流親善スポーツ大会が小千谷・十日町支部の共催で行われ、116名の仲間が集まりました。けが人もなく楽しく過ごすことが出来、より多くの仲間作りができたのではないかと思います。

この事業も平成18年村上に始まり12年間で13支部全てを回ることが出来ましたが、これは歴代の青年部の皆様の結束によるものと感謝し、継続は力である事を再認識しました。今後この事業をブラッシュアップし、青年部の皆が多くの仲間作りや情報共有ができる場となるよう継続して行きたいと考えております。

9月には発送電分離を直前に控え、東北電力(株)配電部様との意見交換をさせて頂きました。

この意見交換会では、何かを決めたりするのが目的ではなく、色々なところで電気工事業界

のPRやコラボレーションが出来ないかといった話し合いを行いました。

このような活動を通じ、今年は青年部の付加価値を更に高める事に取り組み、会員減少傾向に歯止めをかけたいと考えております。

現在、我々を取り巻く様々な制約や、多様性を認めた複雑な環境の中ではありますが、ただ合わせるのではなく、新潟県工組青年部としての明確な意志をもって進化して行きたいと考えております。

『新潟県青年部らしく!』をテーマに新潟県内約250名の青年部と一緒に展開して行ければ幸いです。

本年も色々と沢山の皆様にお世話になりますが宜しくお願いします。

この新しい年が素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げます簡単ではありますが新年の挨拶とさせて頂きます。



県青年部 三役・正副委員長・監事・顧問

地域懇談会を開催

平成29年度の地域懇談会が、新潟支部並びに十日町支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度二支部を廻って開催されるものです。

懇談会では、本間総務委員長の司会、吉田副理事長の進行ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、各事業委員長より担当委員会、青年部会長より青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

「新潟支部」

10月17日、電気工事会館で新潟支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他18名、新潟支部より役員・青年部他17名、合計35名が出席しました。

懇談会では、事務協力費固定費の組合員数に応じた段階的固定費への変更要望、他支部に営業所等を設置した組合員の規約に反した取扱いについての指導、組合組織の将来的なありべき姿、全日電工連近未来ビジョン2016・全国青年部協議会提言書2016の感想、並びに支部青年部

設置に関する規約の整備状況などについて、活発な意見交換が行われました。



齋藤支部長の挨拶

「十日町支部」



富井支部長の挨拶

9月26日、十日町市のラポート十日町で十日町支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他17名、十日町支部より役員・組合員他19

名、合計36名が出席しました。

懇談会では、県内外の仕事紹介・応援要請ができる仕組み構築要望、県本部賦課金の減額要望、組合加入メリットを高めるための今後の施

策、サイボウズを活用した支部組合員への情報提供、工業系以外の高校への業界PR、並びに若手従業員の離職防止のためのセミナー開催などについて、活発な意見交換が行われました。



十日町支部組合員との意見交換

平成29年度 「若手社員グローアップセミナー」を初開催

平成29年11月28日(火)、新潟テルサにおいて、経営企画推進委員会(山本進委員長)主催の平成29年度「若手社員グローアップセミナー」を開催し、11名の方に受講いただきました。

本セミナーは、入社3年目位迄の若手社員の方を対象としたセミナーで、これまでの振り返りと、今後のキャリアプランを考えると共に目標設定を行うフォローアップ研修になります。

講師には、これまで多くの社員研修、ビジネス研修の講師をされております(株)マナーズ代表取締役 山田節子様に勤めていただきました。

当日は、経営企画推進委員会の山本進委員長より開会挨拶が行われた後セミナーをスタート、午前中は「これからの時代のキャリア形成」「自己分析」をテーマに、キャリア形成の仕方を学んでいただくと共に、入社後のこれまでの仕事内容、形成したキャリアについての棚卸を行うことにより、自分自身を振り返っていただきました。

午後は、「キャリアパスモデルと組織の期待」「目標設定」「職場の人間関係とキャリア」をテーマに、これからの目標設定を行っていただき、各受講生より目標等を発表していただき



山田講師



先輩社員の皆様



会場風景



グループ内発表

した。

目標設定の作業では、社長・上司からの手紙から「入社後どんな点が成長したのか」「今後どのようなことを期待しているのか」等の周囲からの期待と、先輩社員との座談会での「これまでの経験・成功・失敗談」「先輩社員のキャリア形成」の話を参考にして作成していただきました。

最後に、経営企画推進委員会の中務 浩 副委員長の閉会挨拶でセミナーを終了いたしました。

終了後、受講生にご回答頂いたアンケートで



山本委員長 閉会挨拶

は、「自分のこれからのモチベーションや今後どのようにしていきたいかが明確になった。」「他人からの評価や期待が知ることができてこれからの仕事に対するモチベーションが上がった。」「先輩社員の座談会で失敗の話を聞いたのは良かった。」等、受講生から多くのご好評の感想を頂くことができました。

受講された皆様方、大変お疲れ様でした。このセミナーで設定した目標達成と、今後の更なるご活躍をお祈りいたします。

また、今回のセミナー開催にあたりましてご



中務副委員長 閉会挨拶

協力をいただきました山田講師をはじめ、受講生への手紙を書いていただきました受講生の社長・上司の皆様、また座談会にご出席いただきました先輩社員の皆様、誠にありがとうございました。

経営企画推進委員会では今後も人材育成に関するセミナーを開催していく予定ですので、是非ご参加いただけますようお願い申し上げます。

先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名隆一

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025)274-0381
FAX (025)274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257)24-3739
東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025)255-4201

CEATEC JAPAN 2017 視察研修

平成29年10月5日(金)千葉県幕メッセにて、横田副理事長、並びに齊藤技術委員長をはじめ技術委員、事務局の計10名参加のもと『CEATEC JAPAN 2017』の視察研修を行いました。



会場内にて記念撮影

CEATEC JAPANとは、主催団体の情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、電子情報技術産業協会(JEITA)、コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)を含め、多数の国際的な企業が参加し、製品のデモンストレーションや最新技術の紹介などを行うアジア最大級の技術展示会です。

CEATEC JAPAN 2017の来場者数が、10月2日から5日の4日間で15万2066人と、1日平均来場者数が3万8000人以上となり、視察研修を行った日は最終日でもあったために非常に混雑していました。(最終日来場者数4万5762人)



社会・街エリア会場風景



8Kディスプレイ(70型ディスプレイを16台組み合わせ)

CEATEC JAPAN 2017では、2020年の超スマート社会『Society5.0』(日本政府提唱による科学技術政策の基本指針のひとつ)の実現に向けた取り組みを、CPS・IoT(実世界とサイバー空間が相互連携した社会)をキーワードに、体験型展示などを駆使し他産業の来場者にもわかりやすく紹介していました。また、企業トップや国内外の要人による会議も併せて開催されていました。

社会・街エリアでは、5GとVRによる不動産会社や現地に足を運ばなくても、自宅のパソコンなどから不動産の内部を見たり、会社の営業担当者などの説明を受けることができる展示や近赤外線で食材をスキャンし、カロリーや栄養素を測定できるといった次世代型の展示がされていました。今後、私たちとインターネット空間の接点はパソコンやスマートフォンといった端末に留まらず、車や家といった生活空間に広がり、生活をより豊かにするとともに、私たちが抱える社会的な課題の解決へも繋がっていくのではないかと思います。

次回のCEATEC JAPAN 2018の開催時期は例年から2週間ほど遅くなり、2018年10月16日～19日に千葉県幕張メッセにて開催予定です。

第32回

電気工事業全国大会(九州・沖縄大会)に参加!

- 11月14日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、（一社）全九州電
- 気工事業協会主管による第32回電気工事業全国大会（九州・沖縄大会）が、沖縄県宜野湾市の
- 沖縄コンベンションセンターにおいて、全国の組合員、青年部、ご来賓など約1,500名参加のも
- と盛大に開催され、当工組からは親会8名、青年部9名、事務局3名の計20名が参加しました。

今回で第32回目となる大会は、メインテーマに『ゆいまーの心を琉球の風に乗せて・輝く未来の電気工事業を創造しよう!』（「ゆいまーる」とは「相互補助」）、サブテーマに『琉球で語る電気工事の未来、美ら海越えてつながるゆいまーの心』を掲げ、大会前日の11月13日に「意見交換会」、大会当日の11月14日は午前中に「組合活性化研修会」、午後から「大会式典」、「交流会」が開催されました。また、会場内ではスマート社会をテーマとした企業展示や物産展も併設されました。



会場前にて記念撮影（親会）



会場前にて記念撮影（青年部）

11月13日15時より行われた「意見交換会」には、全国の組合員、青年部会員合わせ約600名が参加。全70テーブルに分かれ、全日電工連「近未来ビジョン」、全国青年部による「青年部提言書2016」で提言されたビジョンの具現化に向けた3つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。本意見交換会には、当工組青年部を中心に9名が参加しました。（意見交換会の詳細は別頁の県青年部記事をご覧ください。）

11月14日10時より行われた「組合活性化研修会」は、各県工組の財源確保の参考となる事業および情報提供の機会にする場として初開催され、第3回優良事業工組表彰エントリー18事業および昨年度実施した第2回青年部優良活動発表会12事業の計30事業の中から、9事業について事例発表が行われました。

続いて、14時より行われた「大会式典」では、開会宣言、国歌斉唱、黙禱、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、来賓祝辞、役員功労者表彰、



大会式典

優良事業工組表彰および金賞受賞事業プレゼン、青年部優良活動発表最優秀賞事業プレゼン、意見交換会意見発表、大会決議（別掲）、第3回電気工事技能競技全国大会紹介、次回大会開催地紹介等が行われ、閉会いたしました。

今回で3回目となる優良事業工組表彰では、応募18事業の中から滋賀県電気工事工業組合「給付型奨学金交付事業」が金賞を受賞しました。また、青年部優良活動発表最優秀賞事業プレゼンでは、昨年度の全国青年部会員大会の優良活動発表で最優秀賞に輝いた当工組青年部の「新潟電工ガールキャンペーン」について、齊藤卓也会長より発表、全国にPRいたしました。また、平成30年11月30日開催の第3回電気工事技能競技全国大会については、全日電工連の小林功副会長（当工組理事長）より紹介が行われました。

（別掲）

第32回電気工事業全国大会 「大会決議」

ここ万国津梁の地、沖縄県において「ゆいまーの心を琉球の風に乗せて・輝く未来の電気工事業を創造しよう」をメインテーマに、「琉球で語る電気工事の未来、美ら海越えてつながるゆいまーの心」をサブ・テーマとし第三十二回電気工事業全国大会を開催できたことを感謝申し上げます。

昨年度、提言された全日電工連近未来ビジョン・全国青年部提言書の提言項目から「人材確保・育成策」「AI・IoT等スマート社会を見据えた組合員への支援策」ならびに「時代の変化に対応した電気工事業としてのありたい姿」の三テーマを広く各界のご意見もいただきながら、実行に向けた具体策の討議を致しました。

我々には、いつの時代もお客様に二十四時間にわたり、低廉で安定した電気を安全にお届けする社会的使命が課せられています。

電力システム改革が進められているなか、第四次産業革命の技術を取得し電気のプロとして生活水準の向上を目指し、より一層インフラを支える努力が求められています。エネルギーの基本計画については、資源の乏しい我が

大会式典終了後に行われた「交流会」では、終始和やかな雰囲気の中、全国の組合員、青年部の皆様との交流を深め、全国大会は幕を閉じました。今大会では、全日電工連役員をはじめ参加者が「かりゆしウェア」を着用し、沖縄らしい暖かな気候の中で、全国の組合員、青年部の皆様と交流を深めるとともに、電気工事業の未来について真剣に討議しあった大変有意義な



第3回電気工事技能競技全国大会紹介
(小林功全日電工連副会長・当工組理事長)

全国大会でした。今大会の開催にご尽力されました(一社)全九州電気工事業協会・沖縄県電気工事業工業組合の皆様、関係者の皆様、大変ありがとうございました。

国においてエネルギーの安定確保のため、ベースロード電源とされる原子力発電所の全基稼働を実現し、エネルギーセキュリティ・地球温暖化対策など引き続き業界挙げての要請が喫緊であります。

ここに、全国から集った組合員・青年部員の総意として、次の通り決議いたします。

- 一 将来の人材確保・高度技術者育成強化を図り、安全・安心の提供により信頼される街の電気ドクターを目指す
- 一 「ゆいまー」の心を持ち 業界の発展・繁栄に向け、正しい市場作りをめざす
- 一 国益の確保 環境とエネルギーの調和を第一に、エネルギーのベストミックスに向けた実現の要請

以上、関係行政並びに諸団体・関係企業に対し一層のご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、我々組合員は広く社会の期待と負託に応えるため、さらに強い組織と結束を目指すことをここに決議する。

平成29年11月14日
第32回電気工事業全国大会

※ゆいまー：沖縄の方言 結び+まー（順番）
順番に労力交換を行うという意味から「相互補助」

第31回

**消防設備保安功労者
新潟県知事表彰**

去る10月30日、第31回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として元理事の二瓶雄司氏が、地域社会における住宅用火災報知機等の消防用設備の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第31回

消防設備保安功労者新潟県知事表彰



大進電業 株式会社

代表取締役社長

二瓶 雄司 氏

(新発田支部)

第25回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月15日、第25回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、第一電設工業株式会社 稲村辰也氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第25回

優秀施工者新潟県知事表彰



第一電設工業 株式会社

工事部 部長

稲村 辰也 氏

(新潟支部)

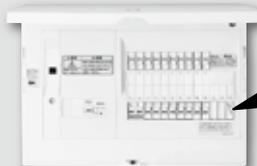
**地震時の通電火災対策に、
パナソニックの「感震ブレーカー」。**

Panasonic
Homes & Living

グラツときたら自動OFF。しかも燃えにくい材質で、
安全性の高い分電盤です。

- 震度5強以上で主幹ブレーカを強制遮断
 - ドアカバーが水平着脱でき施工性が向上※
- ※スマートコスモのみ

感震ブレーカー付 住宅分電盤



感震ブレーカー

毎日が、
備える日。

A Better Life, A Better World

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL 025-260-7711

新発田支部

「わくわくあがの産業フェア」に参加

11月5日（日）に阿賀野市で開催された、「わくわくあがの産業フェア」に参加いたしました。当日は快晴に恵まれ、会場のサントピアワールドの入園料無料もあって、駐車場2,000台分が一時的に満杯となり、やむなくお帰りとなった方も多かったとの話です。主催者発表では、約11,000人の来場者があったとのことでした。



ここここを接続して

電気工事工業組合青年部ブースは例年人気が高く、今回は手動でハンドルを回すと電球が点灯する、子供向け手作り無料電気工作キットを準備いたしました。Fケーブルをステップルで3箇所固定して電線を接続後、ハンドルに力を



さあ、明るくなるかな？

込めて回しはじめると電球が明るくなり、子供たちの顔もパッと輝きます。少しばかりの達成した喜びに溢れた子供たちの姿を見ていると、こちらも充実感があります。この成功体験が未来の電気工事士の入り口になればと、若干期待もしてしまいます。用意した100セットは午後早々に品切れとなりました。

隣ブースでは、東北電力(株)新発田営業所担当課がIHクッキングヒーターの玉こんにゃくの実演等を実施し、終日賑わいました。屋内施設は火気厳禁であり、主催者側より消火器準備の条件は付きましたが、使用が認められる点でもIHクッキングヒーターの優位性は、来場者の方にもご理解いただいたと思います。

商談会がメインではなかったのですが、当日IHクッキングヒーター等の成約もあり、十分な成果があったと自負しております。今後も機会を見つけ、地域の方々に電気工事組合のPRに努めたいと思っています。



玉こんにゃく無料提供

新津支部

にいつ夏祭り

例年、新津で行われる夏祭りをご紹介します。

先ず、お盆の8月16日には、「新津松阪流し」が新津本町目抜き通りを、1,500人を超える踊り子が華麗に踊り流します。「新津松阪流し」は戦国時代に新津地区に伝えられ、盆歌・盆踊りとして唄い踊り継がれ、新津の夏の風物詩となっています。今回、新津支部も東北電力(株)新津営業所と関係企業・団体が参加しました。仕事を終えた後、それぞれが時間を工面し事前練習をして、準備万端で祭りに挑みました。



新津松阪流し出陣式



新津松阪流し

続いて、8月19日・20日の両日は、「屋台まつり」が行われます。新津の総鎮守堀出神社の大祭に、7台の豪華絢爛な屋台が一斉に新津本町目抜き通りへ繰り出します。各屋台の若衆が大通り狭しと屋台を前後に引き回したり、長柄を上下に振るなどし、華麗な「新津松阪流し」

とは正反対な、熱く勇ましいまつりです。今回、新津支部も東北電力(株)新津営業所チームとして、新津本町4丁目「一之町」一番組の屋台に参加しました。

一之町屋台は江戸期安政年間の建造で、新津では一番古い屋台だそうです。京都で彫られたという波しぶきの彫刻と、見送りの二本の角を持つ亀の彫り物が見応えがあります。二階の飾り人形は「稲神様」と呼ばれていますが、町内神明宮の祭神、見送りの亀との関係から「白髭(猿田彦)」と推測されるそうです。

他の屋台の紹介は、長くなってしまうので名前だけにしますが、二之町・三之町・四之町・停車場通り・上善道町・新町です。栄町の神楽は、各町内各戸のお祓いをしてくれます。

屋台祭りフィナーレを飾る宮上りでは、全町内屋台7台が一斉に煽ります。その後、各町内に戻りなおらいをして終了となり、長い一日が終わります。

また、「屋台まつり」には160店を超える様々な露店が出店し、祭りの楽しみの一つとなっています。

「新津松阪流し」、「屋台まつり」が終わると、季節も秋の気配を漂い始めます。機会がありましたら、松坂の哀愁を帯びた流し囃しと、屋台の寄せ囃しの迫力を、共にお楽しみにいらして下さい。お待ちしております。



祭りフィナーレ

県青年部

第32回電気工事業全国大会 意見交換会&青年部優良活動発表



県青年部では、齊藤会長他役員と事務局の10名で沖縄での全国大会へ参加しました。

大会式典前日の11月13日午後から、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンター

にて第32回電気工事業全国大会 意見交換会が開催され約600名の組合員・青年部会員が参加しました。今回は、意見交換会の3つのテーマ「A：人材減少を見据えた業界内の人材確保・育成策について」「B：AI・IoT等のスマート社会を見据えた組合員への支援制度について組合に期待すること」「C：我々が描く電気工事業者としてのありたい姿とは～時代の変化に対応した顧客への新たな提案力とは～」について、1テーブル9名ずつに分かれ活発な意見交換が行われました。



意見交換会の各テーマについて参加者からの報告を一部ご紹介します。

テーマA どの県も若手入職者減少に悩んでいるが、高校生との交流事業は3年目になり一定の成果は出始めているのではないかと。他県では普通科高校への交流事業も行われているとのこと。入社してからの人材育成も大切だと感じる。

保護者が週休二日でないと入社を認めない

という話もある。

女性電工の職場環境整備状況の報告や外国人雇用についての意見も出された。

テーマB AI・IoTはまだ関心がそれほど高いとは言えず、クラウドやネットワーク等を理解していない世代もあり、日常生活には浸透していないのが現状。今後普及するとは思いますが、コンピュータが便利であったとしても、結局は人間が動かないとダメという意見でまとまった。

また新潟県工組ではグループウェア（サイボウズ）を活用しているという事に非常に関心を持たれた。

テーマC 電気工事業者としてのありたい姿については、業界の地位向上、価値向上を図っていく必要があると同時に、週休二日対応など今の若手のニーズに合うように業界も変わるべきだと感じた。掲げる理念に行動と中身が伴うようにしていく必要がある。

14日全国大会式典では、昨年第2回全国青年部会員青年部優良活動発表で最優秀賞をいただいた「新潟電工ガールキャンペーン」の発表を齊藤会長が行い、新潟電工ガールを全国にPRしました。

平成30年は東北七県青年部会員大会や全国青年部会員大会も予定されていますので、青年部会員の皆様、奮ってご参加ください！



魚沼支部青年部

活動報告及び現況報告

お世話様です。魚沼支部青年部の活動報告をします。と言っても今年度は活動がまだ少なく報告するような話題が少なくどうしようか迷走中です。その中でも一番のイベントとしては支部間親善スポーツ大会だと思います。今年度は十日町支部さんと小千谷支部さんの合同開催でしたので、魚沼支部から正規会員（助っ人無し）での参加が出来ました。結果は順当に負けてしまいましたが、皆さん老体に鞭を打って頑張っている姿は結構感動出来ました。昨年度（魚沼支部開催）同様に会員交流会の会場までの距離が結構あり、皆さん「遠い！」と感じていたのでしょうか？ 個人的には気になりませんでしたけど（運転手さんご苦労様でした）交流会では他支部の個性の強さに驚きましたが、とても楽しい会でした。部屋に戻りお先に就寝させていただきましたが、後から来た方に聞きました、部屋の中から怪獣の雄叫びのようなイビキで地獄だったそうです。結局、トイレ前で就寝したそうです。本当にごめんなさい。来

年度も都合がよければ是非参加いたします。開催支部さんご苦労様でした。

現況報告ですが、魚沼支部はこれから雪が多く降る為、業務の方は少なくなっています。がその分青年部の活動は盛んになっていきます。視察研修や会員交流会・新年会・電力さんとの交流会と忙しくなっていきます。「会長さん忙しくなりますよ。頑張りましょう」

本来は魚沼支部だけの活動報告が出来ればよかったのですが…ごめんなさい。

これからの青年部の活動に貢献させていただきます。



十日町支部青年部

十日町支部青年部！活動を楽しんでいます。

今年で2回目となった「協力業種青年部の交流会」を8月18日に開催いたしました。

昨年同様、協力業種として魚沼木材協同組合青年部様、十日町管工事業協同組合青年部様、今回からは鉄工組合青年部様も加わり、参加者は4業種総勢29名となりました。

仕事や経営の情報交換の場を設けることで、今後も協力体制をとり十日町の発展に努めようと心を一つにし、アトラクションでは四組合対抗で競い、大盛り上がり。時間いっぱいまで大いに飲み明かしました。

また、10月14、15日の二日間は今年で開催10年を迎えた「十日町産業フェスタ」が越後妻有交流館キナーレ・道の駅クロス10の特設会場にて開催されました。

2020年の東京オリンピックへ向けて「火焰土器」をモチーフに木材で作った聖火台への点火式で幕開け。

今年も東北電力(株)十日町営業所さんの協力の元、多くの部員が参加してくれました。

「東北電力よりそうeねっと」の広報お手伝いでも兼ねての恒例「こども縁日」は今年も大盛

況、子供たちが行列になり慌てる場面も。

I H体験ブースでの「デコホットケーキ」は今回も大好評、大人も子供も楽しめる良いPRが出来ました。

天候に恵まれなかった二日間でしたが、エンディングイベントでの上棟式（福まき）は大人も子供も夢中になっておやつをキャッチ！最後は「五輪へ向けて」輪のひとつひとつに込められた思いをスローガンに、イベントが閉幕



致しました。

年が明けると「白い愛の祭典～十日町ゆきまつり～」が開催されます。東北電力㈱十日町営業所の敷地内で昨年同様、青年部員で楽しいイベントの計画を進めます。



これからも、積極的に地元十日町のイベントへ参加協力し、電気工事業の事を知っていただく活動を進めます。

青年部、どんどん盛り上がっていきましょう！

佐渡支部青年部

電気工事士実技指導を通じて初心に戻る

佐渡支部青年部では、今年度も佐渡高等職業訓練校からの依頼を受け、第二種電気工事士の資格取得に向けて、受験生に実技指導を行いました。

昨年度は第一種電気工事士の実技指導も行い、第二種電気工事士の実技指導は今年で3年目となり、細やかな受験対策や指導の仕方にもだいぶ慣れてきたところです。

おかげで今年度も7名の実技試験受験者は全員合格となり、われわれ青年部の腕が証明されたと自負しております。

お仕事のご用命はぜひ佐渡支部へ。腕の良いピチピチの中年が揃っております！！

冗談はさておき、未来の仲間を育てる大事な機会を与えていただき、指導を通じて交流もてたこと、とても勉強になりました。

教えることによって、初心にかえることもあります。普段気付かないことに気付けるチャンスでもあります。このチャンスを逃さないよう、これ

からもずっと続けていければいいなと思います。

また、今年度の移動理事会は、20数年ぶりに佐渡で開催されました。本土の皆様方、はるばる海を渡って御出で下さりありがとうございました。

KYの講習も皆さん積極的に取り組まれて大変良い講習だったと思います。

その後の懇親会では、各支部との交流も深めることができ、これからも楽しい青年部活動を続けていきたいと考えています。



組合員の異動

平成 29 年 12 月理事会承認分

日付		支部	
H29. 12. 19	新規	新潟	プライムテック(株)
H29. 12. 19	新規	燕	(株)阿部電建
H29. 12. 19	譲渡	上越	共立ホールディングス(株) → (同)スギデン (代表者：杉田博) (代表者：杉田裕之)

平成 29 年 12 月理事会報告分

日付		支部	
H30. 3. 31	脱退	新潟	石黒電気商会
H30. 3. 31	脱退	新潟	(有)志賀電気商会
H30. 3. 31	脱退	新発田	(有)豊栄電業
H30. 3. 31	脱退	新発田	雪井電設
H30. 3. 31	脱退	新津	佐藤電機商会
H29. 8. 31	脱退	燕	(株)三興電気
H29. 8. 20	脱退	燕	山口電機商会
H30. 3. 31	脱退	長岡	桜井電気商会
H30. 3. 31	脱退	小千谷	岡村電機
H29. 12. 31	脱退	上越	(有)太陽電気商会

組合員の変更

平成 28 年 10 月～ 12 月組合受付分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	(株)小林電機ミシン	代表者	小林 和生	小林 伸司
新発田	(有)豊栄電業	代表者	佐藤 綾彦	佐藤 登美
新津	(有)佐藤電工	代表者	佐藤 栄児	佐藤 浩児
長岡	亘工業(株)長岡支店	代表者	諸橋 市郎	久保田 昌宏
小千谷	小千谷支部	FAX	0258-83-3858	0258-84-7647
魚沼	和光電気(株)	商号	和光電気	和光電気(株)
		代表者	高橋 昭吉	高橋 隆幸
		住所	南魚沼市船ヶ沢新田512	南魚沼市船ヶ沢新田238-5



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気工事技術講習センター』にご登録していただいている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。尚、インターネット登録をしている方は、郵送では案内がいきません。メールでの案内となりますので、お見逃しなさらぬようお気をつけください。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-1587



平成29年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場
平成30年2月2日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室

平成30年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場
平成30年4月3日(火)	燕三条地場産センター メッセピア 5階 総合研修室
4月15日(日)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
6月19日(火)	燕三条地場産センター メッセピア 5階 総合研修室

その後、7月に3回、9月に3回、11月に1回、2月に2回を予定しております。

日程が決定次第、組合HPに掲載いたします。

皆
様
へ
組
合
員
の

なるべく新潟県電気工事工業組合受付の講習会を受講していただけるようご協力お願いいたします。

組合の保険って??

平成30年4月1日からの保険制度

新制度!

全日電工連認定 生活総合保険制度

役員・従業員の皆様、そしてご家族の皆様へ

とてもお得な保険制度が誕生いたしましたので、是非、この機会にご活用下さい。

全日電工連認定 生活総合保険制度のご案内

新制度

新しいお家で
暮らさなくなったから...

所得補償

介護保険が
「要介護2」になったら...

介護補償

もし「がん」と
診断されたら...

がん補償

あなたと、家族を守る
「3つの保険制度」が始まります。

◆2019年10月1日より「新制度」がスタート
募集期間：平成29年11月1日から募集開始（募集終了は要相談）

全日本電気工事師会連合会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

パンフレット・加入依頼書 送付依頼書

本会が専任の印刷業者から印刷したパンフレットとして、ご郵送が可能なように、印刷・加工作業等を経て郵送開始いたしました。全日電工連認定「生活総合保険制度」のパンフレットと、加入依頼書（送付依頼書）を同封しております。

姓	フリガナ
氏名	フリガナ
〒	
住所	フリガナ
番地	フリガナ
電話番号	フリガナ
送付先	フリガナ

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

FAX 03-5442-2758
株式会社 全日電工連認定サービスセンター

全日電工連認定の、安心・おトクな3つの保険制度です。

全日電工連では、さまざまな生活のリスクから、組合員様ご自身の暮らしを守り、サポートする3つの生活総合保険を創設いたしました。全日電工連ならではの団体割引の適用により、割安な保険料と安心の補償を実現しています。ご家族の皆さまもご加入いただける「保険制度」です。

【全日電工連認定 生活総合保険制度の特長】

1 選べる補償
保障内容が選べ、3つの補償内容があります。

2 家族も加入できる
ご家族の皆さまもご加入いただけます。

3 おトクな保険料!
団体割引の適用により、おトクな保険料です。

所得補償

就業までの期間を、最大2年間補償。
就業後病気やケガで働けなくなった場合、就業後2年以内は、就業前1日あたり10万円、就業後2年以降は、就業前1日あたり10万円の補償です。

就業前1日あたり10万円	就業後2年以内	就業後2年以降
40	45	50
50	55	60
60	65	70
70	75	80
80	85	90
90	95	100
100	105	110
110	115	120
120	125	130
130	135	140
140	145	150
150	155	160
160	165	170
170	175	180
180	185	190
190	195	200
200	205	210
210	215	220
220	225	230
230	235	240
240	245	250
250	255	260
260	265	270
270	275	280
280	285	290
290	295	300
300	305	310
310	315	320
320	325	330
330	335	340
340	345	350
350	355	360
360	365	370
370	375	380
380	385	390
390	395	400
400	405	410
410	415	420
420	425	430
430	435	440
440	445	450
450	455	460
460	465	470
470	475	480
480	485	490
490	495	500
500	505	510
510	515	520
520	525	530
530	535	540
540	545	550
550	555	560
560	565	570
570	575	580
580	585	590
590	595	600
600	605	610
610	615	620
620	625	630
630	635	640
640	645	650
650	655	660
660	665	670
670	675	680
680	685	690
690	695	700
700	705	710
710	715	720
720	725	730
730	735	740
740	745	750
750	755	760
760	765	770
770	775	780
780	785	790
790	795	800
800	805	810
810	815	820
820	825	830
830	835	840
840	845	850
850	855	860
860	865	870
870	875	880
880	885	890
890	895	900
900	905	910
910	915	920
920	925	930
930	935	940
940	945	950
950	955	960
960	965	970
970	975	980
980	985	990
990	995	1000

介護補償

早期・高額を問わず「要介護2」以上で、一時金300万円を支給。
（要介護2以上の状態が継続し、就業後2年以内は、就業前1日あたり10万円の補償です。）

年齢	公的介護保険制度の「要介護2」以上の状態を受けた場合	あるいは就業後1日あたり10万円の補償を受けた場合
20-24歳	40万円	40万円
25-29歳	45万円	45万円
30-34歳	50万円	50万円
35-39歳	55万円	55万円
40-44歳	60万円	60万円
45-49歳	65万円	65万円
50-54歳	70万円	70万円
55-59歳	75万円	75万円
60-64歳	80万円	80万円
65-69歳	85万円	85万円
70-74歳	90万円	90万円
75-79歳	95万円	95万円
80-84歳	100万円	100万円
85-89歳	105万円	105万円
90-94歳	110万円	110万円
95-99歳	115万円	115万円
100歳以上	120万円	120万円

がん補償

一時金100万円を支給、再発や転移でも支給します。
（がんの種類により、一時金の額が異なります。詳しくはパンフレットをご覧ください。）

がんの種類	一時金
1. がんの種類	100万円
2. がんの種類	100万円
3. がんの種類	100万円
4. がんの種類	100万円
5. がんの種類	100万円
6. がんの種類	100万円
7. がんの種類	100万円
8. がんの種類	100万円
9. がんの種類	100万円
10. がんの種類	100万円
11. がんの種類	100万円
12. がんの種類	100万円
13. がんの種類	100万円
14. がんの種類	100万円
15. がんの種類	100万円
16. がんの種類	100万円
17. がんの種類	100万円
18. がんの種類	100万円
19. がんの種類	100万円
20. がんの種類	100万円
21. がんの種類	100万円
22. がんの種類	100万円
23. がんの種類	100万円
24. がんの種類	100万円
25. がんの種類	100万円
26. がんの種類	100万円
27. がんの種類	100万円
28. がんの種類	100万円
29. がんの種類	100万円
30. がんの種類	100万円
31. がんの種類	100万円
32. がんの種類	100万円
33. がんの種類	100万円
34. がんの種類	100万円
35. がんの種類	100万円
36. がんの種類	100万円
37. がんの種類	100万円
38. がんの種類	100万円
39. がんの種類	100万円
40. がんの種類	100万円
41. がんの種類	100万円
42. がんの種類	100万円
43. がんの種類	100万円
44. がんの種類	100万円
45. がんの種類	100万円
46. がんの種類	100万円
47. がんの種類	100万円
48. がんの種類	100万円
49. がんの種類	100万円
50. がんの種類	100万円
51. がんの種類	100万円
52. がんの種類	100万円
53. がんの種類	100万円
54. がんの種類	100万円
55. がんの種類	100万円
56. がんの種類	100万円
57. がんの種類	100万円
58. がんの種類	100万円
59. がんの種類	100万円
60. がんの種類	100万円
61. がんの種類	100万円
62. がんの種類	100万円
63. がんの種類	100万円
64. がんの種類	100万円
65. がんの種類	100万円
66. がんの種類	100万円
67. がんの種類	100万円
68. がんの種類	100万円
69. がんの種類	100万円
70. がんの種類	100万円
71. がんの種類	100万円
72. がんの種類	100万円
73. がんの種類	100万円
74. がんの種類	100万円
75. がんの種類	100万円
76. がんの種類	100万円
77. がんの種類	100万円
78. がんの種類	100万円
79. がんの種類	100万円
80. がんの種類	100万円
81. がんの種類	100万円
82. がんの種類	100万円
83. がんの種類	100万円
84. がんの種類	100万円
85. がんの種類	100万円
86. がんの種類	100万円
87. がんの種類	100万円
88. がんの種類	100万円
89. がんの種類	100万円
90. がんの種類	100万円
91. がんの種類	100万円
92. がんの種類	100万円
93. がんの種類	100万円
94. がんの種類	100万円
95. がんの種類	100万円
96. がんの種類	100万円
97. がんの種類	100万円
98. がんの種類	100万円
99. がんの種類	100万円
100. がんの種類	100万円

平成30年度 消防関係試験実施計画

1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H30. 6. 2 (土)	H30. 4. 10 (火) ～4. 24 (火)	H30. 4. 13 (金) ～4. 27 (金)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 佐渡市
H30. 9. 2 (日)	H30. 7. 17 (火) ～7. 30 (月)	H30. 7. 20 (金) ～8. 2 (木)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
H30. 11. 23 (金・祝)	H30. 10. 9 (火) ～10. 23 (火)	H30. 10. 12 (金) ～10. 26 (金)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H31. 3. 2 (土)	H31. 1. 8 (火) ～1. 22 (火)	H31. 1. 11 (金) ～1. 25 (金)	甲種・乙種第1～6類・ 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H30. 6. 23 (土)	H30. 5. 7 (月) ～5. 21 (月)	H30. 5. 10 (木) ～5. 24 (木)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H30. 10. 14 (日)	H30. 8. 24 (金) ～9. 7 (金)	H30. 8. 27 (月) ～9. 10 (月)	甲種特類 甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H31. 3. 17 (日)	H31. 1. 21 (月) ～2. 5 (火)	H31. 1. 24 (木) ～2. 8 (金)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で4月上旬頃から配布をする予定です。
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN

株式会社 ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212

東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創

災害は
無理と油断と
焦りから
守ろう我が身と
仲間の安全



〈安全標語〉 長岡支部 大原電業㈱ 高橋 直也

新潟県電気工事工業組合